

第 二

「蟲研」南京蟲驅除劑の效果實驗

**實驗目的：**—「蟲研」南京蟲驅除劑の南京蟲驅除效果と從來使用され好評ある他劑の驅除效果との比較研究にあり。

**實驗方法：**—各藥劑を蟲體に一回附着せしめ暗所に靜置し一定時間後の斃死數を調査する。供試蟲たる南京蟲は從來驅除劑等を使用せざる場所より捕集し中位以上の成蟲にして最も健全活潑なるものを用ふ。

**比較實驗結果：**一次表に示す様である。

時間	2 時間 後			4 時間 後			6 時間 後			8 時間 後			10 時間 後		
區別	本劑	從來ノ劑	他劑ノ劑	本劑	從來ノ劑	他劑ノ劑									
項目	使 用	好 評 使 用	使 用	使 用	好 評 使 用	使 用									
供試數	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇									
斃死	〇	〇	〇	二〇	〇	〇	一〇	四〇	〇	一八〇	一四〇	二〇	二〇〇	一八〇	二〇
瀕死	六〇	四〇	〇	一六〇	一一〇	一一〇	八〇	一〇〇	〇	二〇	四〇	三〇	〇	一五〇	三〇
活アルモノ	一四〇	一六〇	二〇〇	二〇〇	九〇	一九〇	二〇〇	六〇	二〇〇	〇	二〇	一五〇	〇	五〇	一五〇

**考 察：**—上表は多數實驗した内の一例に過ぎないけれ共何れの場合に於ても從來の好評ある他劑に比して「蟲研」南京蟲驅除劑の方が遙かに斃死率高い。

南京蟲捕集後多少保護上不自然の廉あるためか藥劑無使用區に於ても多少斃死する。

「蟲研」南京蟲驅除劑は他藥劑に比して人體に副作用を起す事無く、又濕氣を吸收する事無く且つ同重量で他劑の約3倍の容積を有する事等は需用家の最も利益とする處である。

南京蟲を捕集せず南京蟲の棲息する部屋に就ての實地試験に依るも「蟲研」南京蟲驅除劑使用區は他に比して速かに且完全に驅除し得た。